

http://www

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan)

# ニュースレター

2020年1月20日発行  
第1号

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan) <http://vbtj.org/> [toyoshi@io.ocn.ne.jp](mailto:toyoshi@io.ocn.ne.jp) (長谷川)  
<事務局> 〒359-1105 埼玉県所沢市青葉台 1337-1-508 長谷川方 04-2939-8470 (TEL&FAX、長谷川)

## 巻頭言

VBTJ 代表 大塩英人

### この号の内容

- 1 巻頭言(大塩英人)
- 2 神のタイミング(永井敏夫)  
ベトナム語版三浦綾子書籍  
配布(長谷川与志充)
- 3 息子の嫁がきっかけで  
(岡本安司)  
初めてのベトナム人  
(大庭博子)
- 4 お祈りと支援献金のお願い  
ニュースレター原稿募集  
ベトナム語版トラクトの件など  
編集後記

ベトナム人たちは、私にとっては家族であり身内です。そこがスタート地点です。

はじめまして。Vietnamese Bible To Japan (VBTJ) というミッションを2018年8月から行っています。私はベトナム・ホーチミン市に住んでいますが今回日本にいる仲間とともに正式にグループを組んで活動する事になりました。現状2019年12月時点で日本にある115の協力教会に、ベトナム語聖書およびベトナム語訳した2種類の三浦綾子さんの本を届ける事ができています。

2019年6月末時点で約37万人のベトナム人が日本に在住しています。半年毎に4万人増えています。現在中国人に次いで2番目に多い外国人グループで、多くは技能実習生または留学生として来日し、日本社会の底辺にいます。彼ら彼女らは約100万円の借金を負い家族の期待を背負って日本にやってくるのですが、残念ながら職場でパワハラ・セクハラ・契約不履行があり、結果として飛び出た人たちがメディアで報道されて社会問題になっています。

私はベトナムに在住しており、日々ベトナムの方々との利害関係があり文化的な摩擦の中で格闘しています。無邪気で陽気で欠点も多いベトナム人たちは、私にとっては家族であり身内です。そこがスタート地点です。一方、仕事でベトナムに来た日本人は一律に“まるで昭和30年代、40年代の日本を見るようだ。すごい熱気だ。”と言います。そのすごい熱気を受け取る仕組みによって送られた19才から30才くらいの彼ら彼女らは生身の人間で、大家族主義の家を出て孤独で、借金の重圧を感じながら言葉のよく分からない国に居るただの若者たちです。日本の居住者300人に1人がそういうベトナム人でありながら、クリスチャンもベトナム人の事をほとんど知りません。

例えば根室市は人口2万5千人でベトナム人の若者は250人ですから1%。250人もいたら4~5名は元からプロテスタント信者です。隣接する別海町は1万5千人に対し200人。彼ら彼女らは“行ける”教会を探しているはずですが、高齢化の過疎地におけるその意味合いを想像できるでしょうか？ どうしたら教会に来てもらう事ができるのか？ 言葉の問題はどう乗り越えるのか？ 体力はあるのか？ 聖書を届ける以外にも具体的な問題は山積みです。

見ないふりをするのはカンタンです。しかし聖書はどう言っているのでしょうか？ 私たちもこの世の中の“在留異国人”であり国籍は天にあるのです。私たちとともに祈り、考えてみませんか？ そしてできることから一緒にはじめてみませんか？ この会報を通して協力者が増える事を心より祈っています。



## 神のタイミング

J.Clay Mission Network 永井敏夫

神はベストのタイミングで事を成される。

6月 JEA 総会会場に大塩英人さんがいた。ブースのテーブルに積み重ねられたベトナム語の聖書と三浦綾子さんの書籍のベトナム語訳を、総会の代議員方に紹介している。JEA 総会の場でベトナム語の聖書の紹介がなされるのは画期的なことだ。大塩さんがメールでやりとりした教会を含め、現在 115 を超える教会に聖書と本が置かれている。これは小さな数字だが、神の言葉の持つ力を小さくするものではない。

8月11日、都内荒川区の東京日暮里国際教会でベトナム語礼拝がスタートした。この教会は、都区内の華人を主な対象に礼拝をしているが、ひとりの姉妹はベトナム出身だ。「ベトナム語で礼拝をささげたい。」という姉妹の思いを教会として受け取り、祈りを積んできた。

アメリカから日本の教会に遣わされているトラン・ニーという宣教師がいる。ベトナム生まれでアメリカに行き神学校で学んだ後、日本に派遣されている。トラン先生のベトナム語礼拝をスタートとしたい聞いた長谷川与志充先生と私は、早速トラン先生に声をかけ、東京日暮里国際教会の朴樹民先生を紹介するに至った。ベトナム生まれの一人の姉妹の存在と願いを朴先生らが祈りで受け止め、トラン先生との出会いの中でこうして小さなベトナム語礼拝がスタートした。このようにして始まった礼拝は現在も第二日曜日の夕方から継続している。

ベトナムではカトリックが8%、プロテスタントが2%という数字がある。この数字から日本に3万人以上のカトリック信徒、7500人を超えるプロテスタントがいるという値を引き出すことも可能だろう。都内でスタートしたベトナム語の礼拝は「大河の一滴」だ。国内のベトナム人数37万人という数字と比べても限りなく小さい。けれども母語で聖書を読み、神の言葉に養われるキリスト者たちの祈りには生きた力がある。小さな礼拝の中でなされる祈りは、日本のあらゆる地域に届き、そして母国ベトナムにも届いていくと私は信じている。



## ベトナム語版 三浦綾子書籍配布

三浦綾子読書会顧問（前代表） 長谷川与志充

三浦綾子書誌(黒古一夫監修、岡野裕行著)によると、三浦綾子さんの書籍は韓国語(26作品)、中国語(23作品)、英語(6作品)など15言語に翻訳されています。

その本の中ではベトナム語に翻訳された作品としては「氷点」だけが紹介されていますが、その他にはVBTJで配布している「光あるうちに」と「旧約聖書入門」が翻訳されています。

「旧約聖書入門」は読んで字のごとく旧約聖書をわかりやすく解説した本ですが、「光あるうちに」は副題が「道ありき／信仰入門編」とあるようにまさに信仰入門書と呼べる本です。そういうわけで、これらを未信者のベトナム人に配布することは即伝道になるわけです。

「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見いだそう。」(伝道者の書11:1)

この御言葉は伝道のための励ましとしてよく引用されます。私達が行うベトナム語版の三浦綾子書籍配布もパンを水の上に投げるようなものかもしれませんが、この御言葉が約束しているようにずっと後の日になって(天国でかもしれませんが)救われたベトナム人を見いだすことができることを願いつつ行い続けて行きたいと思います。この働き我的祝福のため覚えてお祈りいただけたら幸いです。

## 息子の嫁がきっかけで

布施キリスト集会 岡本安司

初めまして。大阪にある布施キリスト集会の岡本安司です。私がベトナムと関わった理由を少し紹介します。

私の息子は、日本は、すべて満たされているので面白くないと大学を卒業した後、アメリカに留学し就職しました。最初は韓国、次にタイに勤務した時、ベトナムにある日本企業に誘われ、首都ハノイの会社に就職しました。会社の近くに住んでいた時、同じ会社で働くベトナム人の若い女性が日本語を教えてほしいと息子の家に来ました。日本語ができれば、もっと給料の良い日本の会社に勤めることができます。彼女は、とても真面目な性格で親思いです。独学で日本語能力試験N3を取得しましたが、それでは不十分です。息子は、日本留学を勧めましたが、彼女の家は貧しく留学などできません。息子は、留学の費用を出してあげることにしました。また息子は、私の家にホームステイをさせてほしいと言ってきました。初めは戸惑いましたが、教会に出席することを条件に許可しました。彼女は、わずか1年間でN1に合格し帰国しました。帰国後、二人が結婚したいと言ってきました。初めは反対しましたが、神さまに任せました。

息子は、クリスチャンですが、ベトナムは外国人が集える教会が少ないです。それで息子はインターナショナルチャーチに集っています。そのインターナショナルチャーチをきっかけとして息子から大塩さんを知りました。大塩さんも息子と同じようにベトナム人の奥さんがおり、ホーチミンの教会に集っています。

大塩さんから日本にいるベトナム人のために協力してほしいと頼まれました。私は、現在ネパール人のためのNP O法人BFNの理事を務めています。ベトナム人もネパール人も日本に多く在住しています。労働環境の劣悪さも知っています。在日ベトナム人の寂しさや苦しみを思う時、神さまの愛と救いを届けたく、この働きに参加させていただきました。

よろしくお願ひします。

## 初めてのベトナム人

日本バプテスト小倉キリスト教会 大庭博子

私にとっての初めてのベトナム人は、ヤンちゃんです。彼女は2013年に不思議な主の導きによって日本バプテスト小倉キリスト教会を探しあてて来ました。当時彼女は日本語学校の学生でしたが、全く会話のできない日本語力で辞書を片手に英語を交えながら話しました。そうしているうちに堰を切ったように泣き出したのでした。それだけ抱えていたものがあつたのです。主にある兄弟姉妹の中でこらえていたものが一気に溢れ出た感じでした。その後彼女は私の家にホームステイし、私たちは教会生活を共にするという恵みに与りました。

彼女はクリスチャンで自分から門をたたいて教会へ来ましたが、大半のベトナム人はそうではないでしょう。まずはVBTJの存在、ベトナム語聖書がある教会の存在を知ってもらうことです。今年6月には、近隣教会に呼びかけ、大塩さんをお招きして富野バプテスト教会で、集会「日本にいるベトナム人の救いのために」を実現することができました。

思考回路や文化背景が異なる人たちとの交わりには最初はいろいろな誤解や思いの違いが生じます。しかしながら、私たちの真ん中にイエス様がいらっしゃるならそのような問題は必ずや解決されるものだと確信します。実際ヤンちゃんともそんな行き違いを重ねてきました。そして、そのことが今の信頼関係を作り上げていったのです。ヤンちゃんも語学学校から短大へ、そして日本語能力検定2級を取得し、2017年に帰国しました。今はホーチミンで日本企業の社員となって活躍しています。昨秋、そのヤンちゃんを訪問したことがきっかけとなってVBTJの大塩さんとの出会いが与えられました。神様のなさることは、私たちの思いをはるかに超えた方向へとつながり、広がっていきます。

いただいた恵みに感謝し、北九州で協力教会のネットワークを構築し、ベトナム人一人ひとりと、ヤンちゃんのような関係を育んでいきたいと思ひます。

## お祈りと支援献金のお願い

これまで全国諸教会への聖書とベトナム語版三浦綾子書籍の配布は、大塩英人代表が書籍代や送料をすべて自己負担する形で行われて来ましたが、今後もこの働きを継続発展させるためには多くの方々からの祈りと経済的支援がどうしても必要な状況となっています。

書籍配布の他にも VBTJ では今後以下のような働きを祈りつつ計画しております。

- 1) ベトナム語版トラクト作成 & 配布
- 2) ベトナム語版漫画メサイヤ作成 & 配布
- 3) ベトナム人宣教師の日本各地への派遣

これらの働きのためには多くの経済的必要があります。是非とも覚えてお祈り下さい。また、主に導かれた方は以下の口座まで支援献金をお振り込みいただけましたら幸いです。

ゆうちょ銀行 記号 10300 番号 94675701

他銀行からの場合 店名 ○三八(ゼロサンハチ) 店番 038 普通 9467570

## ニュースレター原稿募集

今後このニュースレターは半年に1回のペースで発行予定ですが、その中には皆様からの原稿も掲載できたらと願っています。以下のような原稿を VBTJ 事務局(長谷川)までメールでお送りいただけましたら幸いです。字数は800字以内、写真もあれば是非お送り下さい。

- 1) ベトナム語版三浦綾子書籍をベトナム人に配布した証し
- 2) 各教会におけるベトナム人との交流の証し
- 3) 個人的なベトナム人との交流の証し

次号(2020年6月発行予定)では、東京の日暮里で月1回行われているベトナム語礼拝を特集します。

## ベトナム語版トラクトの件など

VBTJ ではベトナム人とのつながりを作るためのベトナム語版トラクトを作成しました。今回のニュースレターにはサンプルを1部同封させていただきましたが、さらにトラクトを希望される方は、送付先と希望部数を VBTJ 事務局(長谷川)までご連絡下さい。料金は1部10円で、送料は実費をお願い致します。

それから、VBTJ では Facebook の作成をして下さる方を募集しています。ご協力下さる方は同じく VBTJ 事務局(長谷川)までご連絡下さい。

最後に、希望者にはニュースレターの PDF をお送りすることができます。この PDF を関係するの方々にお送りし、VBTJ の働きを是非ご紹介下さい。希望される方は VBTJ 事務局(長谷川)までメールでご連絡下さい。

### VBTJ(Vietnamese Bible To Japan)

事務局

359-1105

埼玉県所沢市青葉台1337-1-508長谷川方

電話番号&FAX 番号

04-2939-8470(長谷川)

電子メール

toyoshi.ocn.ne.jp(長谷川)

ホームページ

<http://vbtj.org/>

## 編集後記

初めての VBTJ のニュースレターを皆様にお届けすることができ本当に感謝です。今号では大塩代表と運営委員4名(永井、長谷川、岡本、大庭)が自己紹介兼ねて原稿を書きましたが、今回は東京のベトナム語礼拝に関わっているベトナム人メンバーを初め、様々な方々の原稿を掲載できたらと願っています。ますます増加傾向にある在日ベトナム人に対する働きのために、皆様のご協力をよろしくお願い致します。(長谷川)